

令和5年12月度 金時山山行記



慌ただしい師走を迎え、12月18日、愈々、今年も最後の山行となりました。

第178回山行は箱根金時山。天気は少し雲が多めながら、何とか雨は心配ない予報。男性11名、女性6名の合計17名のメンバーの山行です。5:50にメンバー全員をピックアップすると予定通り6:00に谷津船橋ICから高速に入る。マイクロバスは新木場辺りで落下物渋滞に会いながらも、箱崎から首都高はほぼ順調に進み、東名高速に入り、湿度が低いため遠くに丹沢山系の稜線と富士山がクッキリと見え、自然と気分が盛り上がる。7:35に海老名SAで10分の往路休憩に入る。御殿場ICで東名高速を南側に降り、紅葉の箱根の山道に入る。8:45金時ゴルフ練習場駐車場に到着。

2班のSさんの音頭で、いつものようにウォーミングアップアップ体操で身体を解し、2班Kさんがトップ、ラストSさんで予定通り9:00公時神社登山口から山行開始。まずは公時神社に詣で、今日の安全を祈願する。12月の山行で山の気温は如何かと一抹の不安と、金時山はどんな一期一会を与えてくれるのかという期待が交錯しながら少し霜柱の残った山道を歩き始める。公時神社のニワトリの鳴き声が聞こえる。階段の山路から金時ラインを横切り本格的な山行に入る。徒に馬齢を重ね、衰え始めた五感を山の緑と冷気が一気に覚醒リセットさせてくれる。「やっぱり山はいいなあ」



と心の中で呟く。9:25 金時宿り石に到着。ここで少しブレイク。脚を進めて行くと山が開けてきて右手に大涌谷の白煙と芦ノ湖、遠くに駿河湾を望む。10:10 公時神社分岐に辿り着

き、ここで暫しの休憩タイム。山頂まで後25分。

ラストスパート、最後の力を振り絞りガレ場を登り切り金時山山頂に到着。標高1212メートル、頂標に全員集合し記念写真を撮り、昼食タイムに入る。山頂

には2軒の茶屋（金時娘茶屋は閉店中）。山頂から7号目辺りまで冠雪した富士山の山頂は若干の浮雲が掛かっていたものの一望できる。



然し、日頃の行いの佳さなのか昼食中に雲が抜け山頂を望むが事が出来、全員大喜

び。金時山山頂の風は強くなかったが、汗をかいた身体には少し寒い。然し、今月の



月例会で勉強した汗冷え対策のレイヤリングで寒さは余り感じず万全。ベースレイヤーは年金生活者なのでブランド品は控えて、ワークマンで作業用のポリエステル繊維素材のレイヤーを購入。これが思いの外のクオリティの高さ。汗冷えも

防ぎ本当に助かりました。月例会の勉強に感謝。

11:15 予定より早く下山スタート。下山は長尾山から乙女峠を經由して乙女口バス停



のルートだ。途中ちょっとした鎖場の危険な場所、最後は根の生い茂った山道はあったものの、全員無事下山する。途中で、強風も吹く事なく、実に穏やかな山行でした。降りてクールダウン体操を終

え、丁度いい塩梅に到着したバスに乗り込む。途中立ち寄り湯のあしがら温泉、小山

町町民いこいの家に。温泉に入り今日の山行の疲れは吹っ飛ぶ。そして風呂上がりの

ビールをみんなで飲む。下山後のビールは何故こんなに旨いのかと、一堂リラック

ス。20分程の歓談後、少しほろ酔い加減であしがら温泉を15:30スタート。海老SAで復路休憩し、16:15出発。途中東名高速道路は綾瀬付近、事故渋滞で少し混んでいたものの、三山観光の運転手さんの上手い高速道路車線取りで、予定より少し早く18:20に谷津船橋ICに到着。「よいお年をお迎えください」の言葉と共に都度解散。金時山はいい一期一会を与えてくれた事を感謝しつつ、今年最後の山行となりました。

後記 クールダウン体操が良かったのか温泉の効用なのか翌日の身体的ダメージは全くありませんでした。来年は辰年で年男。まだまだ頑張るぞ。ほほほ。

【S.U 記】